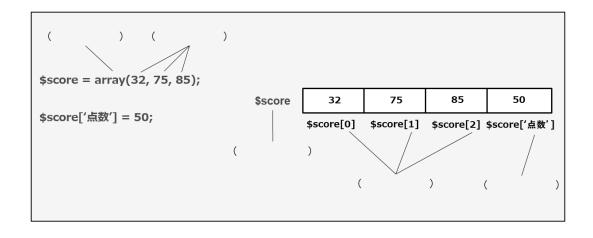
PHP 超入門 「配列」章の基本概念確認問題

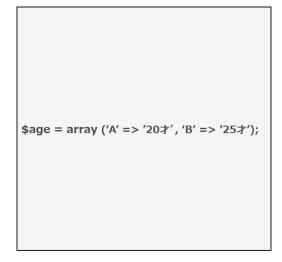
パターン1

範囲:	当ス	クール	の PHF	超入門の	「配列」				
実施日	:	年	月	月 (曜日)			資料作成者:神田 IT スクール コン	/テンツ開発部
開始時	間:	時	<u>分</u>	終了時間]: 時	<u>分</u>		制限時間:1時間	
座席	*番号 :			氏名:			会社名:		
目的:	配列(の基本	、概念、	理解度	チェック	&フォロー	を行うこと	<u> </u>	
回答方法	去:								
※テ※制※取	キスト 限時間 得した be Acro	は使・ 引は脱 PDF bat Re	ってよ 技守し [・] ファイ ader D	い。イン てくださし (ルを「A Cの使い)	ターネッ ハ。 dobe Ac	robat Rea は下記でご例	はいけま der DC」で ないださい	ご開いてください。	
Step1		「実施 「開始 「座席 「氏名	日」を 時間」 番号」 」を記	項目を記力 記入しました を記入しました 入しました 記入しました	した。 ました。 ました。 こ	うか確認し、	以下にチェ	ックを入れてください。(※通学®	時のみ)
Step2						ージで構成さ	れているか	確認します。	
Step3	■ Ec	lipse 0	Dプロシ	ジェクトエ	クスプロー	ラーのファ	イルは全てハ	ヾックアップを取り、削除します。	
Step4	■プ	ロジェ	クトを	\[\text{checkA} \]	rrayTest01	_名字のロ	ーマ字 」と	して作成します。	
Step5	■制	限時間	引は厳	守してく	ださい。				
	すべ	てのプ	ログラ、	ムが完成、	もしくは制	川限時間に達	したら作業	を止めます。	
	※ たた	ごし、死	長り数行	亍で書き終	わる等、目	途が立ってい	いる場合は最	き後まで仕上げていただいて構いま	せん。
Step6	■す	べての	プログ	ラムが完成	戈したら、糸	冬了時間を記	入します。	※通学時のみ	
Step7	■プ	ロジェ	クトを	zip で圧絹	皆し、提出に	フォームから	提出してくれ	ださい。	

Step8 ■本紙を講師に提出してください。 ※通学時のみ

確認問題.以下の空白に入る単語を記述しなさい。 ※こちらはテキストなどを最初は見ないようにする





【語群】 ①array関数 ②, (カンマ) ③宣言 ④データ(要素) ⑤ 配列変数 ⑥文字列キー ⑦連想配列

```
「 」ageを「 」し、
「 」を使用し「 」を
まとめて配列に代入する。

この配列は「 」なので、
配列に格納する場合は、
「 」=>「 」と記述し、
複数格納する場合は、「 」で
区切って記述を行う。
```

問1. 10,20,30,40,50 の 5 つの要素を持つ配列を作成し、4 番目の値を表示するプログラムを作成しな さい。

ファイル名:ArrayTest01_01

ヒント:配列の基本、配列の利用方法

【仕様】

Step① 配列変数\$array を宣言し、10,20,30,40,50 の 5 つの要素を代入する

Step② 整数値キー[3]の値を出力する。

【実行結果】

整数値キー3の値は「40」です。

問2. 10,20,30,40,50 の要素を持つ配列を作成し、「2番目の要素」と「インデックス番号 4 の要素」の 値を表示するプログラムを作成しなさい。

ファイル名:ArrayTest01_02

ポイント:配列の基本、配列の利用方法

【仕様】

Step① 配列変数\$array を宣言し、10,20,30,40,50 の 5 つの要素を代入する

Step② 整数値キー[1]の値を出力する。

Step② 整数値キー[4]の値を出力する。

【実行結果】

2番目の要素:20

インデックス番号「4」の要素:50

問3. 名前、性別、年齢の3つのプロフィールが格納された連想配列の各要素の値を表示するプログラムを作成しなさい。

ファイル名:ArrayTest01_03

ヒント:配列の利用方法

【仕様】

Step① 以下のキーと要素を持つ連想配列を作成し、配列変数\$profile に代入する。

文字列キー: 名前 要素: 神田太郎

文字列キー:性別 要素:男 文字列キー:年齢 要素:23

Step② 配列変数\$profile の要素を使って文章を出力する。

【実行結果】

私の名前は「神田太郎」です。

男です。

23歳です。

問4. 東口,西口,南口,北口の4つの要素を持つ連想配列を作り、実行結果のメッセージを表示するプログラムを作成しなさい。

ファイル名: ArrayTest01_04

ヒント:配列の利用方法

【仕様】

Step① 配列変数\$direction に以下の文字列値キーに対して要素を代入する。

文字列キー: east 要素: 東口 文字列キー: west 要素: 西口 文字列キー: south 要素: 南口 文字列キー: north 要素: 北口

Step② 配列変数\$direction の要素を使って文章を出力する。

【実行結果】

神田駅の「南口」または「東口」が神田 IT スクールに近い出口です。

問5. 電気街口改札,中央改札,昭和通り口改札の 3 つの要素を持つ配列を作り、実行結果のメッセージを表示するプログラムを作成しなさい。

ファイル名: ArrayTest01_05

ヒント:配列の利用方法

【仕様】

Step① 配列変数\$direction に以下の整数値キーに対して要素を代入する。

整数値キー:1 要素:電気街口改札

整数値キー:2 要素:中央改札

整数値キー:3 要素:昭和通り口改札

Step② 配列変数\$direction の要素を使って文章を出力する。

【実行結果】

秋葉原駅の	「昭和通り口改札」	が神田 IT スクールに近い出口です。